

にしもん森林だより



低密度植栽試験地調査の結果

西紋別支署では、造林作業の省力化と低コスト化の検証を目的として平成28年春からトドマツの低密度植栽試験地を設定し、各種の調査を実施しています。

10月26日に今年度の生長量比較調査を実施しました。各プロットにおける植栽木の苗高、根元径には目立った成長の差は見られませんでした。野鼠等の被害によると思われる枯死が目立ち、調査対象とする植栽木が減少してきています。

また、広葉樹発生状況調査ではカンバ類、イタヤカエデ、ホオノキ、ミズナラ等が、ha当たり750本から1,800本を確認しました。昨年の調査結果(360本~1,050本)と比較すると約71%増となっています。野鼠等の被害により調査対象木の減少が続いていることから成長比較が困難になることが予想され、対策として新たな試験地の選定を行っています。

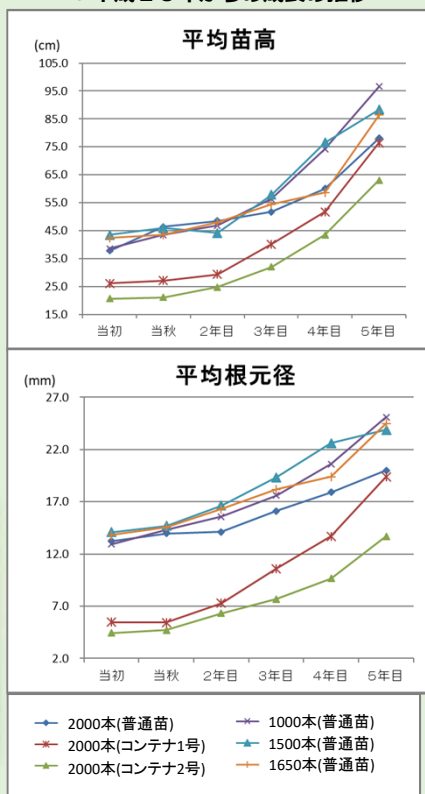


生長量比較調査



広葉樹の発生状況

◎平成28年からの成長の推移



国有林の仕事 〈治山編〉

森林には水を蓄えたり、土砂の流出や崩壊を防いだり、風や霧を防ぐなど、様々な働きがあります。しかし、豪雨などで森林が荒廃すると、森林が持つ機能が損なわれるだけでなく、山腹崩壊や溪流からの土砂流出により、住居・施設などに被害を与える場合があります。

森林管理署では、国有林内の荒廃森林を復旧させて、土砂流出・崩壊などの被害を防いだり、森林が持つ機能を回復させるため治山事業(治山工事・森林整備)を実施しています。

①治山工事

溪間工(荒廃した溪流を安定化させるダム・護岸・流路工など)、
山腹工(崩壊地の土砂流出や拡大を防ぐ緑化工・土留工など)、地すべり防止工事など

②森林整備

機能低下した森林を回復するために、植栽や本数調整などを行います。



溪床の侵食防止と流木の流出を防ぐ目的で作られた治山ダム



国有林の仕事 〈林道編〉

西紋別支署では、国有林内で生産した木材の搬出及び森林整備のために林道（林業専用道）を計画的に整備しています。林道の作設、維持修繕などを行うのが「土木」担当の仕事です。

●林道の作設●

林道作設の際には、どのような線形の林道にすれば効率的な森林整備が行えるか？作設コストを下げるにはどうするか？など、**林内へのアクセスの視点と、土木的な視点の両方からアプローチすることが重要だと考えています。**



林道工事の様子



維持修繕のための測量

●維持修繕●

除草工、路面整正やチャーターで簡易的な維持修繕を行っています。

維持修繕は林道作設のように大規模な工事ではありませんが、林道の安全通行のためには欠かせないものであり、毎年欠かさず行っています。



常呂川森林ふれあい推進センター主催のワークショップに参加しました



10月15～16日、常呂川森林ふれあい推進センター（北見市）にて若手職員のスキルアップに向けたワークショップが開かれました。

北海道には石狩、常呂川、釧路湿原、駒ヶ岳・大沼の4つの森林ふれあい推進センター（通称ふれあいセンター）があり、自然再生や生物多様性の保全、森林環境教育等に取り組む企業・団体・NPO等の活動の支援、技術指導等を行っています。（ふれあいセンターの詳細については北海道森林管理局のHPをご覧ください！）

今回のワークショップでは、「オホーツクの森」にて自然再生モデル事業植栽地及び野生生物生態調査箇所の見学、樹種識別の勉強会を行いました。また、森林ふれあい活動を行うボランティア団体「オホーツクの会」の会長をお招きして、森林ボランティア等による森づくりに関しての意見を交換し、地域の中での国有林の在り方について検討しました。



発行・編集 網走西部森林管理署西紋別支署（担当：森林技術指導官 阿部）
紋別郡滝上町字滝ノ上原野3線北1番地
TEL 0158-29-2231 FAX 0158-29-2242



国民の森林・国有林